

DXの定義

“企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、**データとデジタル技術を活用**して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、**競争上の優位性を確立すること**”

経済産業省施策におけるDXの定義 20181212004-1.pdf (meti.go.jp)

各用語の定義

用語	対象学年	〈サブタイトル〉 説明	科目例
DXマインド	1～2年	〈素地形成〉 ▶ デジタルリテラシーをふまえた情報共有や作業効率向上のための姿勢	総合工学システム概論 総合工学実験実習 情報1・2
DX基礎力	1～5年	〈経験と理解〉 ▶ 数学・物理等の知識に基づくデータ処理や分析	理数系科目 総合工学実験実習 情報1・2・3 各コース実験・実習
DX専門応用力	2～5年	〈ツールの活用〉 ▶ デジタルツールとその組合せによる課題解決や予測	各コース実験・実習 応用専門分野PBL1・2 卒業研究
DX実践力	3～5年	〈アイデアの創出〉 ▶ 産学共育連携等を通じた課題発見と課題解決	各コース実験・実習 応用専門分野PBL1・2 卒業研究